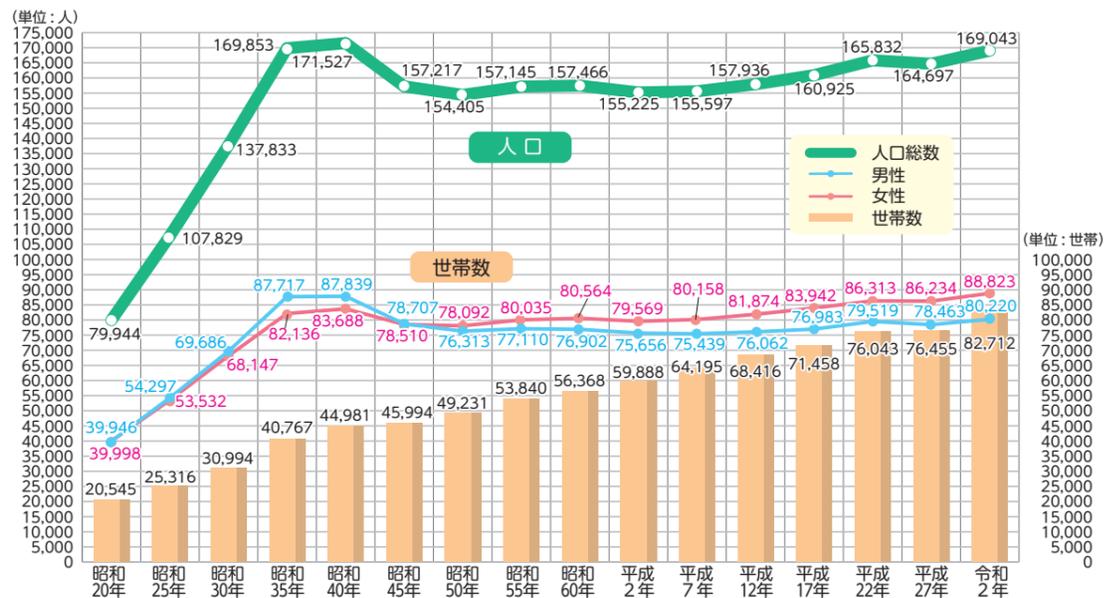


01 増える世帯数

● 城東区の人口および世帯数



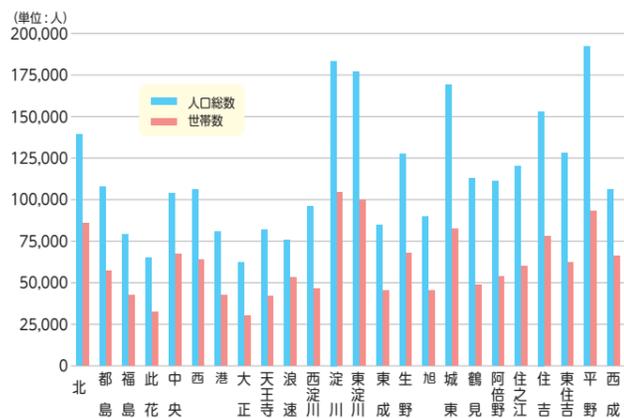
出典：総務省各年「国勢調査」より

人口は、平成15年には160,000人を突破したと推計されます。平成17年から令和2年まで人口は8,118人の増加ですが、世帯数は11,254世帯も増えました。

男女比を見ると、昭和45年までは男性が多かったのですが、それ以後逆転し、女性の方が多くなり、令和2年の推計人口では8,603人も多くなっています。

02 高齢者数の増加

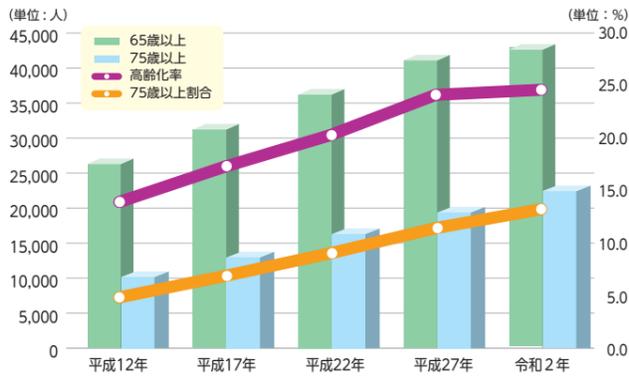
● 区別人口総数・世帯数（令和2年10月現在）



出典：令和2年 総務省「国勢調査」より

令和2年の国勢調査集計結果によると、城東区の人口は市内第4位で169,043人、5年前（平成27年）の国勢調査に比べて2.6%増加しています。また、世帯数は82,712世帯で市内第5位、人口密度は20,172人/k㎡で第2位となっています。

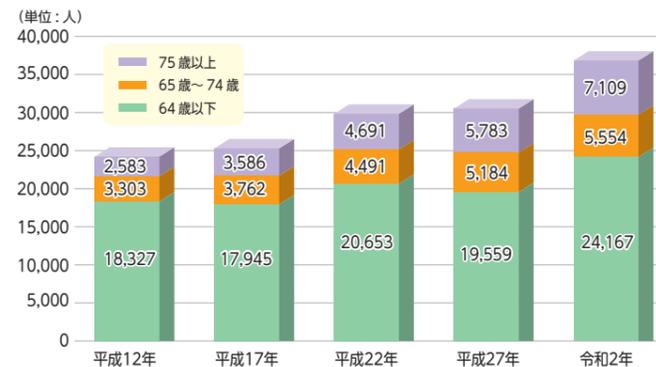
● 城東区の高齢者数・高齢化率の推移



出典：総務省各年「国勢調査」より

我が国の高齢化率は28.6%、大阪市は25.5%、城東区の高齢化率は、25.5%となっています。城東区の4人に1人が65歳以上という状況になっています。そして、65歳以上の高齢者数は、5年前（平成27年）の国勢調査に比べて3.7%増と伸びが増加しています。特に医療福祉が必要となる75歳以上の後期高齢者数は15.7%増と伸びが大きくなっています。

● 城東区の年齢3区分別単独世帯数の推移



出典：総務省各年「国勢調査」より

また、単独世帯の高齢者数も増加しています。65歳以上の高齢単独世帯は12,663世帯で、5年前（平成27年）の国勢調査に比べて15.5%増加しています。特に65～74歳の単独高齢世帯に比べ、75歳以上の単独高齢世帯の伸びが大きくなっています。

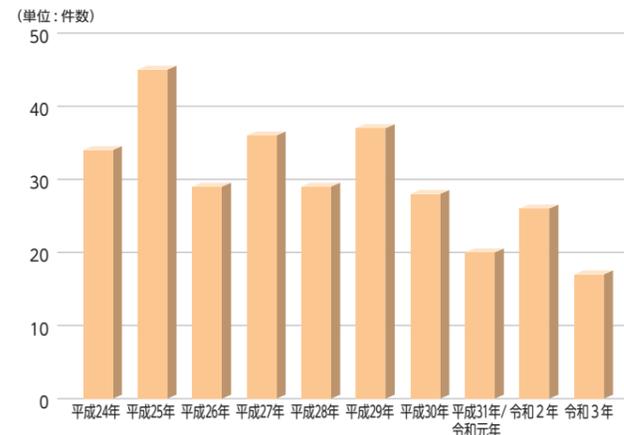
03 刑法犯件数・火災件数の推移

犯罪が大阪一少ないまち

大阪市の犯罪発生（認知）件数は全体的に減少傾向にあります。令和4年の犯罪発生件数（刑法犯）は、33,705件で、10年前の平成25年に比べ29,507件減少しました。とりわけ城東区の令和4年の犯罪発生件数は10年前から1,362件減少となる1,014件で、大阪市24区の中で人口1千人あたりの犯罪件数が一番少ない区でした。

内訳を見ますと、街頭犯罪が5割近くを占めており、とりわけ自転車盗だけで4割近くを占めています。自転車盗につきましても10年前と比べますと5割近く発生件数は減っており、地域の皆様による見守りや夜警活動、また地域・警察・区役所による連携で街頭防犯カメラの運用を年々増やしていく等といった様々な取組が城東区の治安改善につながった10年といえるでしょう。10年前に比べ、発生件数が増えているのは詐欺です。とりわけ近年顕著に増加してきた特殊詐欺に対して、区民一丸となって被害防止につなげていくことが喫緊の課題となっています。

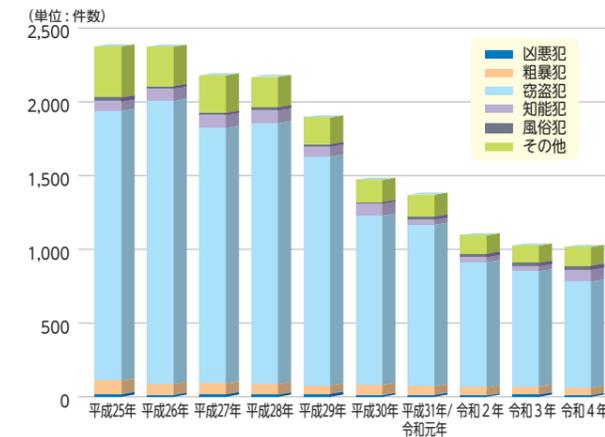
● 城東区内の火災件数



出典：令和3年「消防年報」より

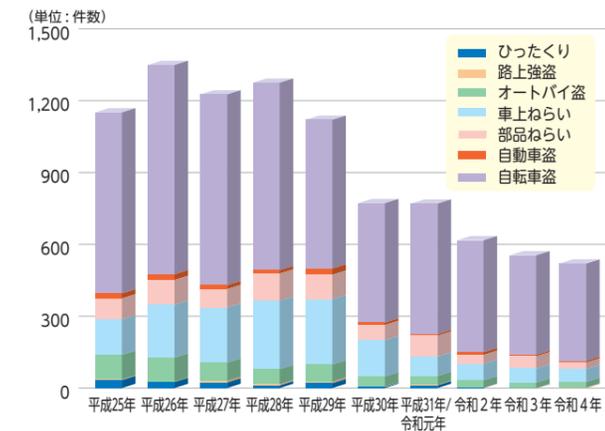
城東区は工場が移転し住宅へと街並みが変わり人口が増加する中、城東区内の火災件数はこの10年間減少傾向にあると考えられます。

● 刑法犯認知状況（城東区）



出典：各年の大阪府警「犯罪統計」より

● 近年における街頭犯罪（刑法犯の内数）発生件数（城東区）



出典：各年の大阪府警「犯罪統計」より